

山 旅

会報 No. 292

好山好山旅会

H. 30. 6



尾瀬 燧ヶ岳

平成30年7月例会山行計画

第一例会	6月30日(土)～7月1日(日)	
東北	裏岩手連峰	担当者 木村
第二例会	7月7日(土)	
上信越	弁天山・八間山	担当者 白井
第三例会	7月18日(水)～7月21日(土)	
南アルプス	荒川三山	担当者 板橋
第四例会	7月26日(木)～7月29日(日)	
北アルプス	白馬岳(鏝～蓮華温泉)	担当者 清水

《 尾瀬 尾瀬ヶ原～至仏山 》

5月第一例会

5月5日（土）～6日（日）

参加者 白井(L)、高柳、吉田、瀬川、板橋、蔵 計6名

—白井 記—

【1日目】晴れ

初日に鳩待峠から小至仏経由で至仏山に登る予定であったが、頂上の予想風速が20m/秒のため翌日至仏山荘からの登頂に予定を変更。至仏山荘へ早目のチェックインを済ませ、尾瀬ヶ原を探索。この時期、例年であればまだ尾瀬ヶ原は雪に覆われているはずだが、今年はかなり雪解けが進んでおり池塘はほとんど現れていた。特に温度が上りやすい木道の下には既に水芭蕉が咲き始めていた。牛首分岐（中田代三叉路）まで往復して2時間後小屋に戻った。至仏山荘は最近改修されたようで建物、食堂、風呂、トイレ、洗面所いずれも極めて快適であった。

【2日目】晴れ

昨日、鳩待峠からの木道歩きで足を痛めた高柳さん、片方のアイゼンが壊れていた板橋さんは大事を取り至仏山への登頂を断念。残り4名で山頂を目指した。小屋からすぐに雪上を歩き初めたが朝から気温が上がっていたため、頂上に至るまでの間クラストしている箇所は無かった。上の方から尻滑りで下って来る人も雪が柔らかいのでスピードが出ずに止まってしまう。森林限界を超えたあたりから見た尾瀬ヶ原を挟んで遙か向こうに聳える燧ヶ岳の雪も谷筋に残るだけで、例年であれば5月下旬の景色のようだった。



頂上からはまだまだ雪の多い越後、会津の山々がきれいに見渡す事が出来た。山の鼻と鳩待峠からそれぞれ登って来た登山者が頂上に到着し混雑して来たので早目に下り始めたが、アイゼンを付けたままで岩場を歩きたくないと雪原トラバース試みるも途中で這松に行く手を阻まれて結局元の道に戻る事となり15分ほどタイムロス。至仏山荘の部屋の鍵を返し忘れていた事に気が付いて山荘に連絡すると、下山先の鳩待峠にある同じ経営の鳩待山荘に預けてくれば、至仏山荘へ荷物を運ぶ予定があるから良いとの返事でほっとした。鳩待峠から戸倉への相乗りタクシーの運転手に戸倉から上毛高原駅へ一人3000円（路線バスで2450円）で

どうかと持ち掛けられ、連休最終日でもあり早めに帰宅したいとの思いで申し出を受け、ノンストップで上毛高原駅着。

☆コースタイム

【1日目】

鳩待峠 10:45 → 至仏山荘 12:00 (着) 尾瀬ヶ原散策 (12:30 ~ 15:30)

【2日目】

至仏山荘 7:30 (発) → 至仏山 10:45 (着) 11:10 (発) → 鳩待峠 12:50 (着)

☆費用

東京駅～上毛高原 (JR新幹線) 6,110円 (片道)

上毛高原～鳩待峠バス連絡所 (関越交通バス) 2,450円 (片道)

鳩待峠バス連絡所～鳩待峠 (シャトルバス) 950円 (片道)

宿泊費 (至仏山荘) 9,500円

《 奥武蔵 皇鈴山～釜伏山 》

5月第二例会

5月12日 (土) 晴れ

参加者 池田(L)、斉藤、高橋、吉田、鈴木、成田、瀬川、木村、小淵、板橋、宮崎、久保田、中村 計13名

—池田 記—

内手 (打出) バス停で集合し、バス停から少し戻りトイレ、案内板の脇の橋を渡り、登山に向けて車道を歩き、七峰縦走の標識を見て集落の小道を登って行く。車道と小道を幾度か交差するが、その度七峰縦走の標識があるので安心、ウツギやシャガなどの花を見て山道に入る。杉林の中を進むと左にお堂と小滝が見えたが、先客が大勢いたので通過する。日陰だが風がなく暑い、緩やかな登りで、左側に牧草地が開けてくるとやがて二本木峠に到着した。

山ツツジの群生地だが残念ながら花は終わり、愛宕山にかけて山肌が朱色に染まる様は見られなかった。それでも僅かに咲き残りが少し見られた。愛宕山で中村さんから普段より汗が多く、この先に進むのに不安がありやめておくと申し出があり、一人でも大丈夫との事で、心配であったが、来た道を下山することになった。

中村さんと別れ北に進み皇鈴山に向かった。皇鈴山の山頂は広く、西側には東屋があり眺望良く眼下には叢山、その奥には両神山が眺められる。東側が大きく開け、関東平野を眺めながら昼食をとった。皇鈴山から下る途中、中村さんから内手バス停に着いたとの連絡が入った。一人で下山させてしまった事が気になっていたが、これでひとまず安心した。

登谷山へは、一旦車道に出て尾根道に入る僅かな登りで電波塔のある山頂に到着した。大展望だが、遠くの山々は霞んでよく見えなかった。北に下り車道歩きで釜伏峠に、釜伏神社への参道を直進する。脇には狛犬ならぬ狛狼の石像が並んでいた。釜伏神社は日本武尊ゆかりの神

社で灯明がともし神々しい雰囲気だ。参拝し神社横の階段を上り塞神峠への道を分け釜伏山に向かう。岩場を登れば山頂に到着。広くない木立の中の山頂には、石祠と狛犬が祀られていた。



下りは岩場でロープや杭があったが、両手を使って慎重に下った。降り立った所から左が日本水への道だが立ち入り禁止で、その先に進むと途中にゴヨウツツジ自生地の石標があったが、フウリンツツジが沢山咲いていた。急な岩場を下り尾根を離れ植林の中を下る。左側には大きく蛇紋岩の岩壁がそびえ圧巻だ。真っ白なウツギの咲く林道を歩き車道に出た。日本の里でトイレ休憩後、波久礼駅まで長い車道歩きとなった。

☆コースタイム 内手バス停 9:40～11:00 二本木峠 11:05～11:45 皇鈴山
(昼食) 12:20～12:40 登谷山 12:45～13:05 釜伏峠
13:05～13:25 釜伏山 13:30～14:40 日本の里
14:50～15:40 波久礼駅

☆費用
電車代 池袋～小川町 810円 波久礼駅～寄居 170円
寄居～池袋 890円
バス代 小川町～内手 500円
合計 2,370円(池袋起点)

★5月第三例会の奥多摩 雲取山～三ツドッケは参加者がいないため、個人山行になりました。

山旅 No.292 平成30年6月1日発行 発行者 白井 裕 編集者 木村 成雄
発行所 埼玉県所沢市寿町 23-2 グレーシアタワーズ所沢 T-2005 白井方 好山好山旅会
WebSite <http://kozanko.com/>